

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 035	提案機関名 全農神奈川県本部
要望問題名 脂肪酸組成値を利用した乳用牛の健康と飼養管理指導方法の調査・研究について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 神奈川の酪農家は現在、県酪連を経由して、関東生乳販連の生乳検査センターにてバルク乳や牛群検定サンプルの検査を実施している。生乳検査センターでは従来の乳成分や体細胞数、細菌数、MUNの他に2021年12月からは脂肪酸組成値等の検査も実施しており、月3回の乳質検査毎に検査データを受け取っている。しかしながら、そのデータ活用と各農家への開示は未だにされておらず有効活用できていない状況である。神奈川において牛群検定実施農家は1/3程度であり、バルク乳における脂肪酸組成値が牛群の健康管理と疾病予防につながれるのか、モニターとしてデータ活用する方法について調査願いたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	牛群検定の乳質検査における脂肪酸組成値のデータは、令和5年8月分から乳成分の分析結果速報で乳脂肪酸100g当たりのデノボ脂肪酸(DnF)、プレフォーム脂肪酸(PrF)の割合および生乳100g当たりのデノボ脂肪酸(DnM)の割合を確認することができます。大まかには、DnFは粗飼料の利用性を、PrFは濃厚飼料の利用性を、DnMはルーメンの発酵を表します。脂肪酸組成は分娩後日数により変動することから、ご提案の「バルク乳における脂肪酸組成値が牛群の健康管理と疾病予防につながれるのか」については、バルク乳が様々な分娩後日数の個体乳を含むことから、牛群管理への利用は難しいと考えられます。個体乳の脂肪酸組成データの利用や他の項目との組合せによる利用など応用が考えられますので、当所のデータを整理するとともに情報収集に努めます。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			